



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe  
〒350-0046 川越市菅原町7-16

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-8

2月号

発行 2020年2月10日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」  
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”  
 「より良い明日のために今日を築く」  
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」  
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」  
 “Innovation with courage, action with heart!”  
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎  
 副会長 松川 厚子  
 会計 山崎 純子  
 書記 利根川 太郎

### 2月の聖書

各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようとして心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。  
 (コリントの信徒への手紙Ⅱ 9章7節)

Each man should give what he has decided in his heart to give, not reluctantly or under compulsion, for God loves a cheerful giver.  
 (2 Corinthians 9:7)

### 2020年1月の統計 (1月25日)

在籍11名 出席者7名

出席率 63.6%

ゲスト; 鈴木寿和様

有限会社「黒子」(旅行会社)

### 2020年 2月 例会予告

日時: 2月22日(土) 午後18:00~20:00

場所: 川越YMCA

ユース・リーダーズ・フォーラム参加報告

報告者; 小久保美羽さん(きなこリーダー)

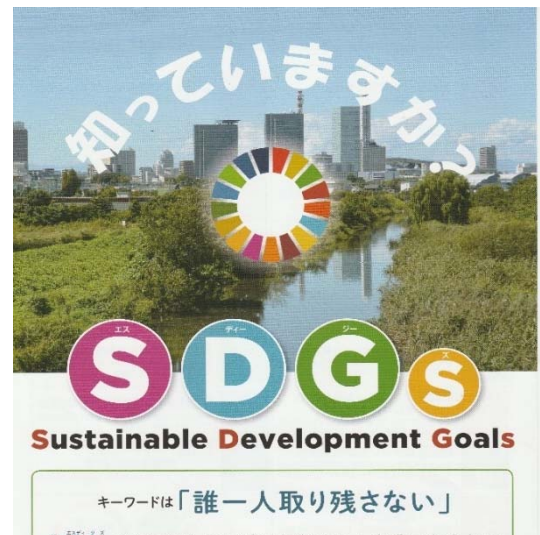
### 1月例会報告

利根川 太郎

- ・ 開会点鐘
- ・ 「いざ立て」斉唱
- ・ ワイズの信条
- ・ ゲスト紹介  
鈴木寿和様 バス旅行について
- ・ 卓話  
「SDG'sについて」  
利根川恵子メン 川越ワイズメンズクラブ
- ・ 議事及び報告事項
  - ・ 次次期関東東部部長  
大澤和子メン(所沢クラブ)に決定した。
  - ・ 所沢クラブ例会のお知らせ  
2月8日(土)18:00 所沢YMCA  
ユース・リーダーズ・フォーラム参加者  
3名の報告  
卓話: 黒田和代さん
  - ・ 次期役員研修会  
3月7日(土)・8日(日)東山荘  
出席者: 利根川恵子(キャビネットとして)  
川越ワイズは欠席
  - ・ 東日本区大会  
6月6日(土)ホテル日航ノースランド帯広  
ホストクラブ: 十勝クラブ  
参加案内が送付されたところ、参加申込は以下の通り  
紙ベースはクラブ毎→吉野会長に連絡  
メールは各自で申込

- ・バス旅行について
  - 3月31日(火) 8:30~16:00
  - ウェスタ川越前集合
  - 富岡製糸工場~こんにやくパーク
  - ~ヤマキ醸造 見学と豆腐づくり体験
  - 参加予想人数(バスの最大乗車人数33名)
  - YMCA スタッフ 2~4名
  - 児童生徒数 15名程度(最大20名)
  - 保護者5名
  - ワイズメンズクラブ5名
  - 募集方法
  - YMCA 児童生徒・保護者 2月20日(木)締切
  - 2月20日(木) 川越クラブ参加者確定後に空席状況により他クラブ等に働きかけ30名以上の参加を目指す。
  - 最終締切 3月10日(火)
  - 最終人数確定 3月27日(金)
- ・「紅あか」販売
  - 販売箱数 58箱 チャリティ 29,000円
  - 販売種を「紅赤」から他品種に変更するかを検討。販売者との情報交換は山崎さんを窓口にする。
- ・IBC「Salem Club」
  - ブリテンの交換 生川さんが川越クラブブリテンの要点を翻訳する。
- ・YMCA 報告
  - 2月10日~24日 フィリピンワークキャブに4名が参加予定
  - 2月22日 ユース・リーダーズ・フォーラム
  - 2月26日 ピンクシャツデー
- ・その他
  - Change!2022 シンポジウム
  - 2月1日(土)13:00 東京 YMCA 社保専
  - 参加: 吉野会長、利根川恵子、利根川太郎
- ・次回例会 2月22日(土)
- ・閉会点鐘

ワードの下、2015年にすべての国連加盟国が一致して採択した目標で、2030年までに17項目の分野でさらに細分化された169の達成目標を掲げて、各国が取り組んでいる活動です。Sustainable Development Goals という言葉の中で、私は、この最初の“持続可能な”を意味する“S”が重要だと思います。かつて、日本の海外援助では、近代的な機械や設備を提供しても、日本からの援助チームが引き上げてしまうと、現地のインフラが不十分のため、一旦故障すると修理することができず、高価な機械や設備が放置されてしまうという報道を目にしました。昨年、非常に惜しまれながら亡くなられた中村哲医師の場合は、医療援助のスタッフとしてパキスタンに派遣されたものの、隣国、アフガニスタンのインフラを改善しないと、根本解決にならないと気づいたそうです。利根川恵子メンの卓話の最後には、参加者全員がSDGsの17項目に対して、一人一人が何ができるかを考えて発表する時間もありました。どうぞ、ワイズの皆さん、SDGsを意識して今年の日々を送りましょう。



## 2月例会 卓話報告

吉野勝三郎

今回は、SDGsについて、川越クラブ会員の利根川恵子メンに話してもらいました。私は、SDGs(持続可能な達成目標)と次世代通信網の“5G”に興味を持っているということ川越クラブの1月号Bulletinの巻頭言で書かせてもらいました。そうしたところ、SDGsについては、何と利根川恵子さんがいろいろな場で講演・解説していることを知りました。正に、“灯台下暗し”でした。

そこで、さっそく2月の例会で、利根川恵子メンに卓話で解説してもらいました。”5G”についても、近々、話を聞けそうで、楽しみにしています。

このSDGsは、「誰一人取り残さない」のキー



## 第5回(1月)わいわい食堂報告

利根川 恵子

去る1月27日(月)16時から18時30分に、第5回わいわい食堂が川越センターで開催されました。今回の参加児童は8名で、ボランティアは11名でした。川越クラブからは、吉野会長、山崎さん、生川さんそして利根川恵子の4名の参加となりました。吉野会長と私はおもしろ実験担当で、山崎さんと生川さんは調理を受け持ってくださいました。

今回のプログラムは、到着次第デザート作り、続いて学習タイム、その後おもしろ実験タイムとなり、17時15分から食事、18時からフィードバックという計画です。食事のメニューは豚汁と手巻き寿司、実験タイムはCDのホーバークラフトでした。

平日の放課後でしたので、低学年の児童は早々と15時過ぎには到着し、溶かしたチョコレートをハートや星形のトレイに流し込むデザートを作って、お兄さん、お姉さんの到着を待ちました。16時までには8名揃い、学習タイムでは、それぞれに持参した課題をこなしました。1,2年生は10分で宿題が終了し、自分たちでルールを考えながらおはじきで遊ぶ姿はたくましい限りです。

続いての実験は、膨らませた風船をCDに付け、抜ける空気がジェット噴射となってCDが浮かび上がるというものです。時間が無いので、吉野会長ともう一人の男性ボランティアに風船を事前に膨らませておいていただきました。部屋が狭く、風船に興奮した子どもたちに、CDの動きについて考えさせる余裕がなく終わってしまったのが残念でした。次のおもしろ実験では、もう少し子どもたちになんで?と思わせる仕掛けを考えたいものです。

夕食は相変わらず大人気で、お代わりが続出しました。手巻き寿司の卵焼きとツナが飛ぶように売っていました。調理を担当した山崎さん、生川さんお疲れ様でした。

最後のアンケートでは全員がまた来たいと書いており、ボランティア全員とありがとうのハグをして帰る子どももいて、疲れを忘れてうれしい気分になれる「わいわい食堂」です。



次回は、打ち合わせが2月19日(水)17時30分から、本番は2月24日(日)11時45分集合です。メニューはハンバーグとナポリタンの予定です。お手伝いできる方は是非ご参加をよろしくお願いいたします。

## 在京ワイズ合同新年会報告

利根川 太郎

2020年1月11日(土)に東京YMCA社会体育・保育専門学校演習室にて、在京ワイズの合同新年会が開催されました。川越クラブからは、吉野勝三郎会長、山本剛史郎さん、吉田公代さん、生川美樹さん、利根川太郎の5名が参加しました。

礼拝とあいさつの後、「大地の詩～留岡幸助物語～」が上映されました。岡山県高梁市に生まれ、幼くして商家の養子となった富岡が、北海道遠軽に「家庭学校」を作るまでの物語です。

富岡は士分の子弟とのトラブルで学校を退学させられるも、周囲の援助によって同志社英学校神学科を経て牧師になります。明治24年に北海道空知にある監獄の教誨師になり、監獄改革を志します。その中で家庭教育の大切さに気づき、北巢鴨に「家庭学校」を作るために奔走します。その後、ルソーの「エミール」に感銘し、北海道遠軽の地に「家庭学校」を作りました。富岡は、少年感化事業の先駆者でした。

映画は富岡の足跡を淡々と描いていますが、妻子の苦労は並大抵では無かったようです。実際、富岡が教誨師を止めて米国で学ぶなど、収入の途絶えた貧しい家庭を守った最初の奥さんは、北巢鴨の「家庭学校」完成後間もなく30歳の若さで早逝しています。鑑賞したメンバーも、単に先駆者の偉人伝というだけではなく、それぞれ様々な感想を持ちました。

その後、東陽町センターのYMCAホールに会場を移して懇親会を持ち、多くのワイズメンと新年のあいさつをして閉会となりました。



## Change!2022 シンポジウム報告

利根川 太郎

Change!2022 推進委員会主催のシンポジウムが2月1日(土)に開催されました。担当の伊藤幾夫メンから早速、報告のメールが来ていますのでご紹介します。

本日、東日本区主催の「Change!2022 シンポジウム」を東京 YMCA 社会体育・保育専門学校（東陽町）で開催しました。

山田敏明東日本区理事をはじめ、西日本区から将来構想特別委員会委員長長の森田恵三さん（京都ウエスト）、委員の大野勉さん（神戸ポート）も参加され、100名超のワイズが出席されました。

発題は栗本治郎委員長の「Change!2022 アクションプラン」をはじめ、甲府21クラブ野々垣健五さんの「16名から36名へ会員増強の実践」、千葉クラブの長尾昌男さんの「(仮)千葉ウエストクラブ設立準備状況」でした。

これらを受けて、10グループに分かれて活発なディスカッションが行われました。最後に「Change!2022 宣言」を採択し、シンポジウムを閉じました。熱心な話し合いで終了時刻も17時を過ぎてしまいました。

本日の報告については、後日、Change!2022 ニュースをはじめ、記録集を作成予定でありますので、ご覧いただければと思います。

ご参加のみなさま、ありがとうございました。

東日本区 Change!2022 推進委員長  
栗本治郎（熱海クラブ）

東日本区 Change!2022 シンポジウム担当  
伊藤幾夫（東京多摩みなみクラブ）

シンポジウムでは、たいへん活発な議論が行われました。特に、会員の減少への危機感とワイズメンズクラブの理念の一つの柱である Christianity の表現の仕方の中で、今後も十分な議論を尽くして共通の認識を形成していく必要があると感じました。

なお、Change!2022 宣言は東日本区ウェブサイトの冒頭に掲載されています。

<https://www.ys-east.or.jp/>

ここから宣言文の PDF ファイルをダウンロードすることも出来ます。

東日本区 山田敏明理事から、「すべてのメンバーが Change!2022 運動の働き手として結集して頂きますことをお願いいたします。」というメッセージが届いています。

## YMCA 報告

河合今日子

### <English Day Camp のご案内>

毎回大好評のイングリッシュデイキャンプ。今年度最後の活動のご案内です。

英語が初めてのお子さんでも安心してご参加ください。お待ちしております。

埼玉YMCA



### イングリッシュデイキャンプ3月 YMCA English Day Camp



“Let's go there!” ~トリックアート美術館を探検しよう!~

2020.3.1 [日] 9:00-16:00

活動場所/高尾599ミュージアム・高尾山トリックアートミュージアム

(東京都八王子市)

対象/年少児~小学生

費用/登録者 4,950円 一般 6,050円

えいごがはじめてのおともたちでも  
だいじょうぶ!

English Day Camp では、「今日の英語フレーズ」を覚え、出陣! スポーツ・野外炊事・ゲームなどのアクティビティを通して、1日英語で過ごします。

所沢センター \*330-1144, 2999(小学生)1-33-2 Tel.04-2939-5051 Fax.04-2929-1331

### English Day Camp 3月活動要項

<日時> 2020年3月1日(日) 9:00-16:00

<対象> 年少児~小学生

<プログラム> 高尾599ミュージアム・高尾山トリックアートミュージアム施設見学

\*雨天決行

<集合・解散> 9:00 所沢センター2Fロビー集合

16:00 所沢センター2Fロビー解散

\*雨天時も集合・解散時間に変更はありません

<活動場所> 高尾599ミュージアム・高尾山トリックアートミュージアム(東京都八王子市)

\*YMCAバスにて移動予定

<定員> 17名

<持ち物> お弁当・水筒・しきもの・雨具・YMCA帽子(お持ちでない場合はご購入をお願いします)

<費用> 登録者4,950円(プログラム費・指環料・交通費・保険代・消費税含む)  
一般 6,050円(同上・臨時登録費)

### 申し込みについて

#### 申し込み方法

申し込み期間中(1月29日(水)10:00~2月26日(水)16:00)

お電話または随学教務2F受付窓口にて直接ご予約ください。

所沢センター総合受付 TEL 04-2939-5051

または、随学教務(2F) TEL 04-2929-2330

#### 申し込み~参加までの流れ

①お電話または受付窓口にてお申し込み

②申し込み締め切り日までに下記3点を1F受付までご提出ください。

- ・原簿(保険証コピー付) 券にご提出いただいている場合は不要です。
- ・申込書
- ・参加費

③当日、集合場所にお越しください。

#### キャンセル規定

前日12:00まで:全額返金 左記以降:50%返金

#### お問合せ

(公財) 埼玉YMCA 所沢センター(布目 雄) TEL 04-2929-2330

E-mail: international@saitamayca.org

<YMCA 春のプログラムガイド申込受付中> (幼児～高校生対象)

連休、春休みを楽しく有意義に過ごすプログラムのラインナップです。

お申し込みはお早めに！

- ◆English Preschool (2～3歳、新年少/所沢)
- ◆English Spring School (新年中～小6/所沢)
- ◆English Spring Camp (新年中～少6/御殿場)
- ◆水泳・体操子ども短期講習会 (新年少～新中3/所沢)
- ◆スキーキャンプ各 (新年中～高3/群馬県・長野県)

パンフレットのダウンロード

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2019/20200127springguide.pdf>

<2020年のピンクシャツデーは、2月26日>

いじめのない世界をめざすピンクシャツデー。今年もYMCAではピンクシャツデーに取り組みます。みんなでピンク色の物を身につけていじめ反対の意思を表しましょう。

## ピンクシャツデー



YMCAはピンクシャツデーに取り組んでいます。  
社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、  
そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、  
いじめられている人を救うことになる...と私たちは考えます。  
公正で平和な世界の実現をめざすために、私たちはその歩みを続けます。  
いじめの問題について一緒に考え、アクションを起こしませんか？

## シアトル便り

森下 千恵子

シアトル生活も残りわずか2か月となりました。毎日淡々とAラインバスで通学しながらふと考えると「ああ、ここはアメリカなのか」と今更ながら思ったりします。私はどこの国に行ってもすぐにその景色や環境に順応して違和

感がないらしいと最近気が付きました。都合よくすぐ忘れるのですが、(すでに認知症が始まっているという意見有り)多分最初の一か月はかなり緊張していたかもしれません。

一か月で生活のサイクルが飲み込めたところで通学バスから降りて初めてマウント・レーニアを見ました。そこに見えることに一か月も気が付かなかったことに驚いたものです。関東で見る富士山と同じで毎日見えるわけでもないのですが。ついでに言うと、ここは海が近くて海があまり見えないのです。木が多くて高すぎるのです。

いつもブリテンの原稿を書くときにワイズメンズの方々が何に興味があるかと一応は考えてみるのですが、やはりわたしの英語力でしょかね。安心してください、私の英語はペラペラではありません。進歩の実感すらありません。最近では後退している感すらあります。

私はカプランという語学学校に通っているのですが、ここに来る学生たちが共通に言うことは「もっと会話の授業があるのかと思った」ということです。そして日本で家族や友人に期待されている英会話力に頭を抱えています。

この語学学校はハイライン・カレッジの中にあるので、半ばハイライン・カレッジの予備校と化しています。実際ほとんどの生徒がカレッジに行きます。授業はほとんど文法学習です。しかも英語で。内容は日本の高校までの英文法なのでからすでに習ってきているはずですがどのくらいの方が覚えているのでしょうか。

クラスは英語レベル別に1から5までのクラスに分かれています。私は今レベル5のクラスにいますが、重ねていいます。私の英語はペラペラではありません。店のレジで店員さんが言った言葉さえ聞き取れないときがあります。

カプランレベル4のクラスを終了するとカレッジに編入できるのでレベル5の学生は少ないです。先学期は国公立大学の女学生3人と一緒でした。レベルの差に泣きましたが「彼女たちは国公立大生で言語学専門だから」とか言い訳していました。そして今学期は東京大学の学生が来ました。他は韓国人の女性2人と男性1人ですがいずれも企業や役所からの研修生でいかに韓国が英語教育に力を入れているかが分かります。最近の日本は内向きで留学生が減っていると聞きますがどうなのでしょう。

日本と韓国共通の特徴ですが、高学歴社会のため、不登校や、大学受験を失敗したため、一発逆転を目指してアメリカの大学を目指す学生も少なくありません。いずれの学生も野心的で尖っています。実は私は何故か校長の裁量でレベル4クラスを飛び級してしまったのですが、その時の皆の視線が刺さるように痛かったのを覚えています。(最近校長のアダムにレベル4に下げてくださいと懇願して却下されました)と

## 編集後記

いうわけで相変わらず英語学習には苦戦していますが、諦めたわけではありません。現役学生と一緒に学習できているわけですから。

それに60歳はとても留学に適している年齢だと思うのです。第一に誘惑が少ない。若い学生の悩みを聞くのですが、私にはもう恋愛の悩みもないし、人間関係なんてここは外国で学校なのだから嫌なら付き合わなければよろしい。買い物も遊びも自分のお金で出来ることもいいです。経験値と知識が英語力を補うこともあります。また少ないとは書きましたが誘惑がないわけではありません。ここは離婚大国、そしてチャンスの国アメリカです。60歳でも熱い視線はありますので国際結婚をお望みの方にもお勧めです。結果には責任を持ちかねますが。

先日娘が有休消化のため10日間ほどシアトルに滞在していきました。かつてシアトルに留学し帰国後5年はもう外国はいいと言っていました。丁度5年目だね、などと言いました。

シアトルの町を歩き懐かしい邂逅を喜んで帰っていきました。今や立場は逆転し娘に励ましてもらうようになりましたが、英語学習の悩みに対して彼女曰く「方向は間違っていない。それでも進むしかないんだよね。」とのことでした。



パナマホテルのカフェで  
娘の愛美と一緒に

令和2年の最初の例会報告となる、川越クラブのブリテン2月号をお届けします。

コロナウイルスによる新型肺炎の流行が収まりません。ドラッグストアのマスクが払底するなど、日常にもその影が見え始め、不安な気持ちにさせられます。

中国では初動の情報管理があったり、不安から封鎖する地区があったりと正確な情報の共有が本当に重要だと感じる報道がありました。

日本ではクルーズ船の乗客が船内に足止めされ、乗客の先行きの不安が大きくなっているとの報道もありました。

感染症に関することであり、まだ分からないことが多いので不安が先行しますが、冷静に対処したいと思います。感染防止にはできることをしっかり行って、こんな時こそ、ワイズメンの信条（自分を愛するように隣人を愛そう）が大切なだと心に銘じて、偏見を助長することがないように願って過ごしていきたいと思ます。

利根川太郎

### International District

パナマホテルカフェ日系アメリカ人の歴史があります。

